

01 教会ニュース

神のたいなる摂理のうちに

開拓34周年を迎えて万民教会の歴史を振り返り、三位一体の神に栄光を帰す。

02 いのちのみことば

宝の中の宝は信仰

神様は私たちが信仰を見せるたびに救いと答え、いやしと祝福を下され、逆境を栄光に変えてくださった。

支教会9月スケジュール

03 特集

主のおことばどおりになりますように！

開拓当時の様子を伝えるチョ・ヒョッキ牧師とイ・ジェロク牧師のイスラエル宣教にロシア語通訳者として同行したソン・ヨンナク執事の証し。

04 証し

世界のすべての造られた者を目ざめさせる教会

アフリカのリバイバルを伝えるチョン・ミョンホ牧師と神の力あるわざを体験したイ・ダルチョン伝道師の証し。

万民ニュース

第166号 2016. 8. 28.

MANMIN NEWS

TEL: 82-2-818-7063

www.manmin.org

「全世界に出て行き、すべての造られた者に、福音を宣べ伝えなさい。」

教会開拓34周年を迎え神に栄光！



1982年7月25日、子どもを含め13人の聖徒が開拓礼拝をささげ、神ご自身が「万民」という教会の名前を下されたので、私たちの教会は開拓の時から全世界のすべての造られた者を救いに導く教会になろうと努めてきた(写真1)。

開拓4年目で登録信者3,000人を超える驚くべきリバイバルの原動力は堂会長イ・ジェロク牧師のいのちあるメッセージと火のような祈りを通して現れる不思議としるし、神の力あるわざにあった。7年間の病苦の末に生ける神を見つけて主のしもべとして召されたので、もっぱらみことばの奉仕と祈りに励み、数えきれないほどの断食と祈りで公義を積んだ結果、開拓初期から初代教会のような驚くべきリバイバルのみわざが現れた。

1991年7月、万民中央教会はイエス・キリスト大韓連合聖潔教会総会を形成し、以後「'92世界聖霊化大聖会」共同大会長、「光復50周年記念平和統一ヨベルの年大会」等、キリスト教界の行事に一翼を担うことで民族福音化に努める一方、世界宣教の基盤を固めていった(写真2,9)。その後、教会にやって来た試みをただ善をもって通り抜け、聖徒はさらに麦の聖徒に変えられ、神の祝福は加えられて全世界に知らされた。

第二跳躍期を迎えて2000年、CNNに報道された「ウガンダ連合大聖会」を始めとして(写真8)、日本、パキスタン、ケニア、フィリピン、ホンジュラス、インド、ロシア、ドイツ、ペルー、コンゴ民主共和国、アメリカ、イスラエル、エストニアで開催さ

れた聖会に講師として招かれたイ・ジェロク牧師は爆発的な神の力で創造主の神とイエス・キリストを地の果てにまで伝えた(写真3,4,5,7)。

2010年末からは終わりの時の神の摂理のうちに急速な霊の流れが造られ、聖徒がイ・ジェロク牧師の愛と犠牲に力づけられて真心と全き信仰(ヘブル10:22)に変えられながら本格的な第三跳躍期を迎えている。

神の恵みによって開拓34年目でグローバル超大型教会に成長し、全世界に1万余の支・協力教会とともに神の国を実現している。170余か国をカバーするGCN放送(www.gcntv.org)と61言語で発刊されたイ・ジェロク牧師の信仰書、MIS(万国民間神学校)とWCDN(世界キリ

スト教医師ネットワーク)等を通して世界宣教を進めている(写真10,11,12,13)。

また、神の力の込められたハンカチ(使徒19:11~12)とムアンの甘い水(出エジプト15:25)、自動応答電話のいやしの祈り等で全世界の無数の魂がいやされて祈りに答えられ、祝福されて神に栄光を帰している。今後も罪と悪がはびこった終わりの時に、全世界のすべての造られた者に向けられた神の摂理をさらに力強く実現していくだろう。

7月24日(主日)午後3時、開拓34周年記念礼拝ではシン・ドンチョ牧師の「喜ばれる教会」(イザヤ60:1~3)という説教があり、祝賀公演ではソリスト、芸能チーム、連合賛美チームが父、子、聖霊の三位一体の神に感謝と栄光をささげた。

宝の中の宝は信仰



堂会長イ・ジェロク牧師

「信仰は望んでいる
事がらを保証し、
目に見えないものを
確信させるものです。」
(ヘブル11:1)

私たち万民教会の歴史はただ信仰によって歩んで来た道でした。神様はいつも燃える炎のような御目で見守って、信仰を見せるたびに救いと答え、いやしと祝福はもちろん、すべての逆境を栄光に変えてくださいました。まさに宝の中の宝は信仰だからです。

1. 宝の中の宝である信仰の威力

1982年7月25日、教会を開拓した時の聖殿は10坪余りにすぎず、子どもを含めて13人の聖徒で始めました。開拓資金らしきものはやっと7,000ウォンでしたが、信仰によって多くの祈りと断食を積んでいくと、教勢も短い期間にすみやかに成長していきました。

開拓して77日目に170人を超える人が創立礼拝をささげ、それから満5年にならないうちに登録信者が3,000人を超えていました。聖殿を建築する暇

もなく、より大きい建物に何度も移さなければならなかったのです。このように教会がリバイバルできた最も大きい原動力はみことばを確かにする神の力でした。

私たちの教会にはいやしのみわざがたくさん現れて、噂が広く伝えられていたのです。全国各地から来た病人と悪霊につかれた人々がいやされ、目の見えない人が目をあけて、歩けない人が歩いて走るようになりました。それ以降、力あるわざは毎年大きくなり、神様は天気も調節して、星の移動やトンボ、いろいろな虹等を通して奇しいことを絶えず現してくださいました。このような力あるわざを体験しながら聖徒の信仰はすくすく成長できたのです。

2. 宝の中の宝である信仰とは？

第一に、神様が上から下さる霊の信仰のことでです。

〈マルコ9:23～24〉に、悪霊に取りつかれた息子がいやされることを願う父のことが書いてあります。イエス様が「できるものなら、と言うのか。信じる者には、どんなことでもできるのです。」と言われると、すぐに、その子の父は「信じます。不信仰な私をお助けください。」と叫んで言いました。

この時「信じます。」と言う時の信仰と「不信仰な私をお助けください。」と言う時の信仰とは違います。父親はイエス様が十分に息子をいやして下さるだろうという信仰があって「信じます。」と告白しましたが、これは完全に信じられる霊の信仰でない知識的な信仰でした。それで「不信仰な私をお助けください。」と言ったのです。

霊の信仰はみことばどおり光の中を歩んでいるとき、みこころにかなって求めるとき、そして公義にふさわしい器を備えるとき、神様が与えてくださいます。みことばどおり生きないで罪の中にとどまりながら「主よ、信じます。」と言うなら、これは偽りなのです(第一ヨハネ1:6)。

本当に神様が生きておられることを信じるなら、聖書に記された戒めを守り従う行いが伴うはずで、行いのない信仰は死んだものなので(ヤコブ2:17)、どんなみわざも起こすことはで

きないのです。

第二に、創造主の神を信じるので、従えないことにも従う信仰のことでです。

霊の信仰があれば、自分の思いに合わないことも神様が命じれば従えます。創造主の神は自分に最も良いものを下さる愛なる父だと信じるからです。また、創造主の神は全知全能であり、善なる知恵でおできにならないことがないので、神様により頼んで従えるのです。

神様がアブラハムにイサクをささげなさいと言われたとき、彼が肉の思いを働かせたなら、決して従えなかったはずで、しかし、アブラハムは神の良きみこころを信じて、息子が死んでも十分によみがえらせることができると信じたのです。それで、神様はアブラハムの従順を喜ばれ、彼になさった約束もみな実現してくださいました。

私たちの教会の歴史も、ただ従順と信頼の歴史でした。行きなさいと言われれば行なって、止まりなさいと言われれば止まりました。施しと宣教をするようにつかさどられるなら、そのとおりにしました。財政がギリギリでも、働きかけられるとおりに主のしもべと働き人を養成してきました。迫害されることを知っていても霊の世界を伝えました。みこころならどんなことでも従ったので、神様が責任を負ってくださいました。

第三に、どんな状況に置かれても最後まで移り変わることはない信仰のことでです。

霊の信仰は、どんな困難がやって来ても、いくら長い歳月が過ぎても、移り変わることがありません(マルコ11:24, ヤコブ1:6～7)。神様の約束は必ず成就されますが、神様が計画された時と人が願う答えの時が違うこともあります。すべてを知っておられる神様は最も正確な時に成し遂げられます。

開拓の時から教えてくださった神様の摂理を変わず信じて毎日祈ってきましたが、その道は平坦なだけではありませんでした。時には四方八方から苦しめられているようで、一寸先も見えないような時もありました。しかし、ただ感謝して祈って神様にだけゆだねたら、時間が経つとこの試練にあうように

された神様の摂理が明らかにされました。五重福音に基づいて教団を創設してキリスト教界にあまねく認められるようになり、海外聖会とセミナーも導き始めたのです。1993年は開拓10周年目にして世界50大教会に選ばれました。

そのうち1998年と1999年にかけて、もう一度大きい試みがやって来ました。主のしもべと働き人の何人かが長い間積まれた自分たちの不正を隠せなくなると、派を作って教会を離れたのです。そうしながら偽りの噂を立てて教会を非難し、キリスト教界と世のマスコミ、放送局にまで流布しました。ところで、この試みが始まる前に、神様はあらかじめ知らせてくださいました。これが災いや患難でなく、かえって祝福のテストだと言われたのです。私は神様のことばを信じて、毎週講壇で大胆に祝福と栄光を宣言しました。

三度の試みが終わって2000年になると、ムアン万民教会では、塩辛い海水だけ湧いていた井戸から飲める水が湧く、驚くべき創造のみわざが現れました。そして、ウガンダ聖会を基点に、本格的な海外連合大聖会が開かれ始めたのです。多くの人が偶像を捨てて改宗し、放送を通していやされた証しも絶えず続きました。

2007年からはイスラエルの地にもイエス・キリストを伝えられるようになりました。この他にも世界キリスト教医師ネットワーク(WCDN)と万民国際神学校(MIS)が組織され、GCN放送を通して放送宣教の門が大きく開かれ、文書宣教も活発になりました。全世界のすみずみまで聖潔の福音と神の力あるわざを伝えられるようになったのです。

愛する聖徒の皆さん、

開拓以後、神様は私たちとともにおられ、すべてのことに榮えるように祝福してくださいました。今までも神様の栄光が大いに現れましたが、これからは前と比べられない栄光として現れるでしょう。さらに急速に変化の波に乗ることはもちろん、キリスト教界がこの教会に現れる聖霊のみわざと一つになって、炎が燃え立つようになるでしょう。このような希望をもって皆さんすべてが純金のような信仰を持ち、神様の栄光の道具になりますように。

9月支教会スケジュール

9月18日(日)	大阪万民教会	リバイバル癒し聖会(講師:キム・マルコ牧師)	9月25日(日)	名古屋万民教会	創立22周年記念礼拝及びハンカチ集会 (講師:柳 スンギル総会長)
9月18日(日)	舞鶴万民教会	リバイバル癒し聖会(講師:キム・モニカ牧師)	9月28日(水)	飯田万民教会	権能のハンカチ癒し聖会(講師:柳 スンギル牧師)

万民ニュース

Japanese

発行人: イ・ジェロク
編集者: ビン・グンソン
www.manmin.org/Japanese
www.manminnews.com
編集発行: 万民中央教会
〒08389 韓国ソウル市クロ区デジタル路26キル29
TEL: 82-2-818-7063 FAX: 82-2-818-7048

「神様はまことに奇しいことをなさって恐ろしいほどです！ 炎のような聖霊のみわざは今でも続いています」



チョ・ヒョッキ牧師
(万民中央教会1大大・大教区長)

肺結核3期で余命宣告を受けたがイ・ジェロク先生の祈りでいやされた兄チョ・デヒ牧師を通して、私は1983年の秋、金曜徹夜礼拝に参加しました。甘く妙なる説教を聞いて感動の涙が流れたし、生きている教会だという確信が湧きました。その後リューマチ性関節炎までいやされたのですから、どんなにうれしかったでしょうか。当時、イ・ジェロク伝道師の祈りを通して不思議とし、神の力あるわざが絶えず現れて、聖徒は聖霊に満されていていつでも聖殿に来て神様を呼び求めて祈ったので、10坪余りの聖殿(新デバン洞第1聖殿、写真)にはいつも賛美と祈りの声が絶えませんでした。また、噂を聞いて全国から集まった中風、脳出血、小児麻痺などの病気やわずらいから悪霊につかれた人までいやされて、毎週神様に栄光を帰しました。



ですから、礼拝のたびに聖殿は聖徒でぎっしり埋まって身動きしにくかったし、階段にも新聞紙や発泡スチロールを敷いて礼拝をささげました。特に金曜徹夜礼拝は熱気がものすごく、1部礼拝が終わると青年たちがモップを持って天井に結露した水蒸気をぬぐい取るのが

常でした。何より、初代教会のようにいつも聖徒の暮らし向きを顧みて施しをして、財政の苦しい教会を助けて魂を愛するものの、家族でも聖徒でも同じように接しておられる先生の姿から「ああ、牧会はそのようにしなければならないんだな！」と心に刻みしました。

また、私をはじめ主のしもべたちには部屋代と食費、学費の一切を支援して、まことのしもべになるように養い育てていただきました。「主のしもべは欲、私心を捨てて、神様だけに直接養われるべきであり、神の力を授かろうとするなら、まず聖められた心に変えられなければならない」といつも教えてくださいました。いくら欠けたところの多いしもべでも、最後まで信じてくださる愛によって今日の私たちがあるのです(写真左からチュ・ヒョングオン、チョ・ヒョッキ、チョ・デヒ、チャ・ジョン、アン・ソンホン牧師)。



開拓の時に言われたとおり、30年余り経った今、世界宣教とイスラエル宣教が実践されて、終わりの時に関する預言が一つ一つ成就されるのを見て「神様はまことに奇しいことをなさって恐ろしいほどです！」という感嘆が自ずと出て来ます。全世界の民を救いに導く幸いな教会の主のしもべとして召してくださった神様に、すべての感謝と栄光をお帰します。

週報表紙の大聖殿鳥瞰図

開拓当時から神は大聖殿建築という夢とビジョンを下された。そして1982年9月、17人の聖徒たちに今後建築することになる大聖殿を幻で見せてくださった。ある聖徒は屋根を、ある聖徒は内部を、ある聖徒は裏面を、ある聖徒は96本の美しい大理石柱を見た。天井の中央は十字架形に設計され、屋根が開いて光が入って来るようになっており、講壇は中央でゆっくり回転していた。愛なる神は人間耕作を終えるまでに、涙と犠牲、忍耐の実として得られたまことの子どもたちを通して大聖殿を建築し、ご自身の栄光を現わされるだろう。主のしもべと聖徒が聖められた心の聖殿を建て上げてこそ、大聖殿建築と天の下のすべての造られた者に向けられた神の摂理を完全に実現することができる。それで、教会開拓以後今まで、真心と全き信仰を持つために努めている。



「イスラエル宣教の働き、愛と神の力で成就しています」



ソン・ヨンナク執事
(万民中央教会2大大15教区)

開拓当時、私たちの教会が終わりの時に選民イスラエルに福音を伝える使命があることを教えてくださいました。イエス・キリストを救い主として受け入れないユダヤ人であっても悔い改めるみわざが現れて、福音の回帰がなされることを教えてくださいました。

2007年7月25日、教会開拓記念日に神様はナザレでイスラエル宣教を始めるようになさいました。それ以後、堂会長イ・ジェロク牧師は3年間、全地域を巡って聖潔の福音を伝え、不思議としが伴い、神の力あるわざを行いました。宣教を締めくくる時点である2009年9月には、首都エルサレムの心臓部で聖会(下の写真)を開催して、イエス・キリストが私たちの救い主であることをユダヤ人に宣べ伝え、数多くの神の力あるわざでこれを確かなものとされました。この聖会は放送で全世界220か国余りに伝えられました。幸いなことに、私はこの働きにロシア語通訳者として同行できました。



神様の導きのうちに私は1992年、ロシアが開放されてからあまり経たなくて、すべてが不安で困難だった時期に留学しました。21歳の若さで言語、食べ物、すべての環境が不慣れでさびしい生活でしたが、信仰によって勝ち抜きました。ただ牧者を助けて世界を福音化する働き人になりたいという熱望とビジョンがあったからです。

6年間の留学生活を終えて帰ってきた私は神様の恵みのうちに教会の働き人としてロシア語圏関連業務を担当することにな

りました。そのうち2007年、本格的にイスラエル宣教が始まり、ロシア語圏ユダヤ人教会と牧会者がつながって、次第にイスラエル全域に拡大していきました。

決して楽ではないイスラエル宣教を、堂会長先生はただ信仰と愛、神の力で進めていかれました。一度は牧会者セミナーの時、堂会長先生が「私は本当にイスラエルを愛しています！」と言われましたが、私はその言葉がどれほど真実で切ないのか、その心が感じられてとめどなく涙を流しながら通訳しました。イスラエルの牧会者もその愛を感じて泣いたし、堂会長先生をイスラエルに遣わしてくださった主に感謝するとずっと告白していました。

このように牧者の愛と神の力でイスラエルには福音の実が結ばれつつあります。一例としてクリスタルフォーラム(イスラエル牧会者協議会、左の写真)はフェスティバル、ハンカチ集会、セミナーなど多様な活動をしていて、世界を巡って私たちの教会を知らせています。私たちの働きはイスラエルに向けられた神様の摂理が成就するまで続くでしょう。ハレルヤ！



「アフリカの数多くの教会が私たち 万民教会とともに歩むことを望んでいます」

チョン・ミンホ牧師(イエス・キリスト・アフリカ連合聖潔会総会長/ケニア・ナイロビ万民教会)



アフリカ54か国のあちこちでも数多くの教会と教団が私たち万民教会とともに神の国を広げています。聖霊に動かされて解き明かされ、神様の心と思いを正しく伝えてくれる聖潔の福音を学びたいと願い、それを確かなものとする神の力あるわざを直接目撃しているの、終わりの時、神様の摂理のうちにある教会だと確信しているのです。

2015年11月29日、ケニア・ナイロビ

万民教会の創立15周年記念礼拝に、コンゴ民主共和国のベツサイダ教団総会長であり、キブ州牧会者協会会長でゴマ大学の教授でもあるカプトゥ・ビラージ牧師が参加して、堂会長イ・ジェロク牧師の神の力ある働きについて聞いて非常に驚きました。そして、万民教会の家族になってゴマ・ベツサイダ万民国際神学校を開校したいと言われました。

その後、私は招かれて2016年6月、ゴマ市牧会者セミナーおよび集会を導きましたが「創造の摂理と人間耕作の摂理」等を伝えると大いなる悔い改めのみわがが伴い、150人余りの牧師がベツサイダ万民国際神学校の開校に同意しました。その翌日は驚いたことにベツサイダ教団全体が万民の支教会に加入し、聖徒たちも非常に喜びました。

ベツサイダ教団は数百の教会が所属している教団で、小・中・大学まで運営していて、今後ゴマを中心にコンゴ民主共和国東部の働きに大いなるリバイバルが期待されます。このように神様は心の良いしもべを備えて、万民教会とともに働くように導いておられます。すべての感謝と栄光を神様にお帰しし、祈ってくださった堂会長先生にも感謝申し上げます。

「生きて働かれる神様、私が生き証人です！」

イ・ダルチョン伝道師(万民中央教会2大大10教区長)



1985年10月友だちの伝道で初めての礼拝をささげた後、31年経ちました。これまで不思議とし、想像さえできなかった神の力あるわざを限りなく見て聞いて体験しました。死の直前で生き返った無数の人を見ました。私も弱い体質に生まれて医療保険証がぼろぼろになるほど病院と薬局を転々としていましたが、33歳で万民教会の羊の群れになり、64歳になった今まで薬を一度も飲まず、元気に主のしもべとして働いて22年になります。

重症肺結核にかかって、世の医学ならばすでにこの世の人ではなかった次女のハン・ジュギョン賛美宣教師も、堂会長イ・ジェロク牧師の愛の祈り求めで

いやされ、賛美で神様に栄光を帰しています。アトピー性皮膚炎で顔全体が汁でじくじくしていた孫(チェ・ユンヒョン、6歳)もいやされたし、嫁が先天的な習慣性流産で生まれてくるのも難しかった孫娘(ハン・ユンソン、6歳)も、堂会長先生の祈りを受けて元気に生まれ、すくすく育っています。

私は国内のリバイバル聖会と海外聖会の時、堂会長先生を通して神様が下さった感動の一瞬一瞬に同席できました。その中で神様の摂理のうちに大雨の中で行われた「インド連合大聖会」(写真)を思い出すと、戦慄が全身に走ります。

延べ人数300万人以上が集まって神

様に栄光を帰したタミル・ナードゥ州マリーナビーチ、砂浜をぎっしり埋めた人々のきらきら光る黒い瞳、雨風で引き抜かれそうなほど恐ろしげに揺れていた木々…。

その中で「これぐらいの雨で動揺しないでください。」静かでも権威ある堂会長先生の声が響き渡りました。会衆は強烈な雨に打たれながらも動揺しないで、息を詰めて説教に集中していました。

堂会長先生は全身雨に打たれながら「イエスがなぜ私たちの救い主であるのか」について叫ばれました。聖会直前、強制改宗禁止令が出されて、主宰者側では主イエスについて伝えな

ほしいと言いましたが、さらに大胆にイエス・キリストを宣べ伝えられた堂会長先生は説教後、両手を天高く上げていやしの祈りを始めました。

あちこちから悪い霊の勢力から解放される時の悲鳴が聞こえたとし、いろいろな病気がいやされた人々が証しをしようと、後から後から講壇に上がりました。

このようなみわがは堂会長先生が聖会を導かれる国ではどこでも無数に現れたし、その地が霊肉ともに祝福されるのを見ました。私たち万民教会の働きとともにおられ、力を現して生きて働かれる三位一体の神様に、すべての感謝と栄光をおささげします。

主日大礼拝、主日夕方礼拝、金曜徹夜礼拝はソウルの万民中央教会の礼拝をNSS-6衛星で同時にささげています。

・イエス・キリスト飯田万民教会

〒395-0807 長野県飯田市鼎切石 3883-4
T) 0265-56-8286
<http://iidamanmin.to.cx/>

・名古屋万民教会

〒465-0014 名古屋市名東区上菅 1-916
T) 052-774-8874

・イエス・キリスト山形万民教会

〒999-3716 山形県東根市蟹沢 1486-4
T) 0237-43-0771

・イエス・キリスト別府万民教会

〒874-0924 大分県別府市餅ヶ浜町 4-41
T) 0977-23-8980

・イエス・キリスト大阪万民教会

〒591-8023 大阪府堺市中百舌鳥町 5-775-15
T) 072-220-5289
<http://www.osmanmin.com/>

・イエス・キリスト旭川万民教会

〒071-8144 北海道旭川市春光台4条 3丁目 11-23
T) 0166-53-0652

・イエス・キリスト東京田端万民教会

〒114-1102 東京都北区田端新町3丁目36-1 栄ビル2F
T) 03-3809-3326
<http://tabata.manmin.or.kr/>

・イエス・キリスト松本万民教会

〒399-0033 長野県松本市笹賀 4343
T) 0263-57-0003

・イエス・キリスト舞鶴万民教会

〒624-0913 京都府舞鶴市上安久 138
T) 0773-75-5656
<http://www.manmin.jp/>

・岡山万民教会

〒716-1321 岡山県高梁市有漢町有漢3206
T) 0866-57-9691

・イエス・キリスト東京万民教会

(東京万民宣教センター)
〒167-0051 東京都杉並区荻窪 2-29-13
T) 03-6915-1740

・イエス・キリスト沖縄万民教会

〒901-2212 沖縄県宜野湾市長田1-28-10 サンライフ米須301号
T) 098-988-9472